



うまいビールで食卓をハッピーに!
BAEREN

平成 29 年 3 月 吉日

報道関係者各位

株式会社ベアレン醸造所
企画広報担当 嶋田洋一

雫石町への新工場建設の計画について

岩手県盛岡市のベアレン醸造所(代表取締役:木村剛)は、本日、雫石町との地方創生に関する連携協定を締結いたしました。これに際し、ベアレン醸造所では、このたび新たに岩手県雫石町に第二工場の建設を進めることとなりましたことをご報告いたします。現在の本社工場でビールを造り始めて14年、生産能力が限界に近づいていることに加え、今後の新たな事業展開などを見据えての決断となりました。平成30年度の着工を計画しています。

場所は、国道46号線のつなぎ十文字交差点より小岩井農場方面へ向かう途中にあり、自然にあふれた大変環境の良い場所になります。ここの敷地面積約 3000 m²に新工場を建設いたします。

新工場では現在の本社工場の生産能力同等の生産量を当初計画し、年間の生産能力は500キロリットル程度になる見込みです。また、缶充填ラインを導入し、新たな販路拡大に生かしていきたい考えです。

新工場ではベアレン醸造所がこれまで大切にしてきた伝統の醸造技術と、現代の融合を図り、持続可能な社会への配慮をした場所にしてまいります。また、スタッフが働きやすい環境づくりを進め、新工場においてもベアレンブランドの体現ができるよう考えてまいります。

新工場建設に伴い増産が可能になりますが、これにより岩手県外および新たな流通チャネルへの販路拡大、また昨今世界的なブームになっている世界のクラフトビール市場に果敢にチャレンジし、輸出にも力を入れてまいります。もちろん、今まで通り「岩手の誇れるビール」として、地元でのビール文化醸成を一番に考え、雫石町の方々とも連携し、地域に密着したビール文化を深めていきたいと考えており、岩手のビール文化をバックボーンに私たちはこれからも頑張っております。



新工場建設予定地

以上